

第267回 コミュニケーション・プラザ

日 時：令和7年9月10日（水）13:30～17:00

場 所：赤坂インターシティコンファレンス 3F-302

（港区赤坂 1-8-1）（オンライン併用）

企 画：林野庁 林政部 木材産業課

司 会：林野庁 林政部 木材産業課長 福田 淳

「低層住宅等への国産材利用の拡大に向けて」

我が国では、戦後植林された人工林が利用期を迎えており、建築分野での国産材利用拡大は、森林資源の「伐って、使って、植えて、育てる」循環利用に寄与し国土保全や水源涵養など森林の有する様々な公益的機能の発揮に繋がるとともに、建設時の排出量の削減や炭素貯蔵量の増加によりカーボンニュートラルに貢献します。特にスギ材の利用拡大は、花粉発生源となるスギ人工林の伐採・植替えを促進し、我が国の社会問題である花粉症への対策にも寄与します。

建築用木材の需要の大宗は低層住宅分野が占めており、住宅における国産材利用の拡大に向けては、輸入材比率の高い梁などの横架材やツーバイフォー工法部材において国産材への転換を進めることが重要です。これまで各団体・企業において、横架材等への国産材利用に向けた各種技術開発や、国産材を用いた合理的な設計手法の普及等の取組が進められており、今後は、こうした既往の知見・取組が活かされつつ、住宅分野全体において国産材利用への転換が一層進んでいくことが期待されます。

また、国産材の利用拡大には安定供給体制の構築も課題となっており、木材のサプライチェーンにおける川上から川下までの関係者の連携の下、平時・非常時ともに機能する国産材製品のストック機能の強化などが重要となっています。

今回のコミュニケーション・プラザでは、低層住宅等への更なる国産材利用の拡大に焦点を当てて、これまでの成果や取組事例、技術的な課題や対策などを振り返りながら、今後の展望について考えていきたいと思います。

1.	理事長挨拶	13:30～13:35
2.	司会挨拶	
3.	「住宅分野における国産材利用の拡大に向けた取組」 林野庁 林政部 木材産業課長 福田 淳	13:35～14:10 (35分)
4.	「木材流通における国産材活用に向けた課題と方策」 ナイス株式会社 資材事業本部木材事業部 理事 宮代 博幸 氏	14:10～14:55 (45分)
	～ 休憩 ～ (15分)	14:55～15:10
5.	「脱炭素の時代、地域工務店の木の家が再評価！」 株式会社安成工務店 代表取締役 安成 信次 氏	15:10～15:55 (45分)
6.	「一般流通材のローリングストックによる『林業振興』から『事前復興』へ」 有限会社内野設計 代表取締役 内野 輝明 氏	15:55～16:40 (45分)
7.	質疑応答	16:40～17:00



〒107-0052 東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR 3F-302 TEL : 03-5575-2201



アクセス概要

地下ルート

- 東京メトロ 溜池山王駅 (14番出口当ビル直結)
○ 銀座線 ● 南北線
- 東京メトロ 国会議事堂前駅 (14番出口当ビル直結)
● 丸ノ内線 ● 千代田線

※溜池山王駅を経由するルートとなります。
※雨に濡れずにお越しいただけます。
※バリアフリー

地上ルート

- 東京メトロ 溜池山王駅 (9番出口より徒歩2分)
○ 銀座線 ● 南北線
- 東京メトロ 国会議事堂前駅 (9番出口より徒歩2分)
● 丸ノ内線 ● 千代田線

※溜池山王駅を経由するルートとなります。

※丸ノ内線から 9 番出口まで約 1km ほどあるため、赤坂見附駅で銀座線へ乗り換えるなど他路線が便利です。

第 267 回 コミュニケーション・プラザ（2025/9/10）出席票

☐ 対面ご出席 ☐ Zoom ご出席

（ご出席の形式に✓印をお付けください）

*** 団体の委員として参加される場合は所属団体と委員名を必ずご明記ください**

会社名：

部 署：

電話番号：

役 職：

氏 名：

Zoom 招待先メールアドレス ◆Zoom 出席の方のみご記入ください

※開催前日に招待 URL をお送りします

注）2 名以上のご参加の場合、下記にご記入下さい。

ご所属の部署・役職・ご氏名をご記入ください （団体の委員としてご参加の方は、所属団体名と委員会 名・会社名・部署・役職・氏名をご記入ください）	※対面出席の方は「対面」、Zoom 出席の方 は「メールアドレス」をご記入ください

提出期限：2025 年 9 月 1 日(月)

提出方法：会員専用ページまたはメール（cp@jaho.or.jp）